

令和5年度 年間授業計画

教科	国語		科目	現代文 B
学年	3年		単位数	2単位
教科書	精選現代文B（東京書籍）			
副教材	「新国語総合ガイド 五訂版」（京都書房）、「ちくま評論選 改訂版」（筑摩書房） 「読解 評論文キーワード」（筑摩書房）、「意味から学ぶ頻出漢字 3000」（第一学習社） 「共通テスト + センター試験 国語過去問題」（尚文出版） 「パワーマックス共通テスト対応模試 国語×8」（Z会）			
担当者	脇本勝通・和田姫子			
教科・科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期（28時間）	中間	評論 「社会の壊れる時」（鷺田清一） 小説 「舞姫」（森鷗外）	論理的な文章を読んで、全体の構成、筆者の主張の核心をとらえることができる。  近代の小説を読み、文体の特徴や表現の独自性を理解し、作中の人物の心情を読み取り、自らの生き方を考える契機にできる。	関、知、技、思  定期考査 小テスト 発問
	期末	小説 「舞姫」（森鷗外）	文学的な文章に表現された、作中人物の心情を理解し、優れた描写を味わうことができる。	関、知、技、思  定期考査 小テスト 発問
二学期（32時間）	中間	評論 「鏡の中の現代社会」（見田宗介） 評論 「言語と記号」（丸山圭三郎）	現代社会を構造的に分析する文章を読み、筆者の主張を理解し、それに対する自分の考え方を持つことができる。  言語・記号論を通して論理的な文章の構成、筆者の主張の核心をとらえることができる。	関、知、技、思  定期考査 小テスト 発問
	期末	評論 「他者の声 実在の声」（野矢茂樹） 評論 「環境問題と孤立した個人」（河野哲也）	評論文を読み、自己、他者、外界などについて様々な観点があることを知り、考える契機を持つことができる。  環境論を通して現代社会の直面する課題を理解し、政治的・社会的問題に対する自分の考えを持つことができる。	関、知、技、思  定期考査 小テスト 発問
三学期（18時間）	学年末	小説 「スペインタイルの家」（木内昇）	小説を読み、筆者の考えを的確に読み取り、人間、文化、社会についての理解を深めることができる。また、現代社会が抱えている課題に対する意識を高め、物事に対する判断力を養い、自己の考えを的確に表現することができる。	関、知、技、思  小テスト 発問

令和5年度 年間授業計画

教科	国語		科目	古典B(漢文)
学年	3年		単位数	2単位
教科書	精選古典B 漢文編(東京書籍)			
副教材	「力をつける漢文 実践編」(数研出版) 「漢文必携」(桐原書店) 「共通テスト + センター試験 国語過去問題」(尚文出版) 「パワーマックス共通テスト対応模試 国語×8」(Z会)			
担当者	和田姫子			
教科・科目の目標	2学年で学んだ「古典B(漢文)」の内容を踏まえつつ、中国文学の古典としての漢文を読む能力を養う。中国古典に親しむことによって、ものの見方、感じ方、考え方を磨き、世界観を広げて人生を豊かにする態度を育てる。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (28時間)	中間	史伝『史記』「韓信伝」「荊軻伝」	『史記』「韓信伝」「荊軻伝」を計画的に読んで、論理的な展開の文章を読解することができる。 〔学習内容〕作者の論理的な思考について考える。また、ものの見方や主題を読み取ることができる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 小テスト 発問
	期末	思想『莊子』『論語』	文章『莊子』『論語』を読解する力を養い、思想の内容の違いに気づき、各々の思想の特色を理解することができる。 〔学習内容〕文章、思想を読み、作者の考えを確かめながら、作者の心情を理解し、作者の思想の特色を理解させ、世界観を考えることができる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 小テスト 発問
二学期 (32時間)	中間	唐詩『唐詩選』『唐詩三百首』	唐詩『唐詩選』『唐詩三百首』を読んで、具体例を挙げながら、対句の構成等の詩型、押韻等の修辞法を学び、主題を理解することができる。また、情景、心情を考察し俯瞰的な視野で鑑賞することができる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 小テスト 発問
	期末	小説『太平広記』『離魂記』等	小説『太平広記』『離魂記』等を読んで、文章の構成や文体の特徴について理解し、表現の特色をふまえながら、作品の主題を考えることができる。 各小説作品の背景にある社会や人生に対する古人のものの見方や感じ方、考え方の特色を理解することができる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 小テスト 発問
三学期 (18時間)	学年末	応用発展入試問題演習 共通テスト、センター試験、 二次記述試験演習	重要漢語の意味や重要句法を確認し、漢文の知識の総復習を行う。共通テスト、センター試験、二次記述試験対策の入試問題演習を行う。	関・知・技・思 ワークシート 発問

令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史科		科目	世界史B (必選 近世・近代史)
学年	3年		単位数	4単位
教科書	詳説世界史B (山川出版社)			
副教材	最新世界図説タペストリー (帝国書院)			
担当者	江藤 徹			
教科・科目の目標	近世・近代の世界の歴史の流れを理解し、難関大学入試に対応できる学力も養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (56時間)	Ⅰ期	○アジア諸地域の繁栄 ○近世ヨーロッパの形成	・明・清の形成とその中国統治、周辺諸地域との関係について理解できる。 ・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向、南アジアのムガル帝国の動向とその社会や文化の特質を理解できる。	関・知・技・思 小テスト 定期テスト 提出物 発問
	Ⅱ期	○近世ヨーロッパ世界の展開 ○近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・17世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。 ・18世紀から19世紀までの近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立を扱い、資本主義世界の確立と、人民主義に基づく民主主義の形成の始まりを理解させる。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
二学期 (64時間)	Ⅲ期	○欧米における近代国民国家の発展	・1880年代に入ると、列強はアジア・アフリカでの植民地獲得をめざす帝国主義政策を追求するようになる動きを理解させる。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
	Ⅳ期	○アジア諸地域の動揺	・19世紀のアジアの特質と、日本の位置づけを理解させる。 ・帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加など、工業化に伴う国家・社会の変化を理解させる。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
三学期 (36時間)	Ⅴ期	補足と演習	・地域史、テーマ史、文化史などを学習するとともに、演習を行い、大学入試に対応できる力を養う。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問

令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史科		科目	世界史B (必選・近現代史)
学年	3年		単位数	2単位
教科書	詳説世界史B (山川出版社)			
副教材	最新世界図説タペストリー (帝国書院)			
担当者	江藤 徹			
教科・科目の目標	近現代史の講義と演習を行い、難関大学入試に対応できる学力を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (28時間)	Ⅰ期	帝国主義とアジアの民族運動	世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応、特にアジア諸国が大きく動揺し、体制を維持するために改革を迫られると同時に民族的自覚が高まり、各民族の解放・独立をめざすナショナリズムの運動が展開したことを理解することができる。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
	Ⅱ期	二つの世界大戦	総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソ連の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解することができる。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
一学期 (32時間)	Ⅲ期	二つの世界大戦  冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解することができる。  東西対立の始まりとアジア地域の自立、冷戦構造と日本・ヨーロッパの復興、第三世界の自立と危機・米ソ両大国の動揺と危機を理解することができる。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
	Ⅳ期	現代の世界	冷戦の解消と世界の多極化、社会主義世界の解体と変容を理解することができ、グローバル化した世界と日本の動向及び社会の特質について考察する。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問
三学期 (18時間)	Ⅴ期	補足と演習	過去問を利用して国公立二次試験や早慶を中心とする問題に対応できる応用力を身に着ける。	関・知・技・思 定期テスト 提出物 発問

# 令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史		科目	日本史B（必選）
学年	3年		単位数	4単位
教科書	『詳説日本史B』（山川出版社）			
副教材	『図説日本史通覧』（帝国書院）、『新詳述日本史史料集』（実教出版） 『4ステージ演習ノート 日本史B』（数研出版）			
担当者	峯岸 久枝			
教科・科目の目標	生徒に日本の原始から近世までの歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、当時の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることで、生徒自身の歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期（56時間）	中間	日本文化のあけぼの 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権 律令国家の形成 平城京の時代 天平文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器時代から、7世紀初頭の飛鳥時代までの歴史事象を近年の研究成果に依拠しつつ、体系的な理解を深める。</li> <li>飛鳥・白鳳・天平文化に関して成立の背景と各文化の特徴を説明できる。</li> </ul>	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
	期末	貴族政治と国風文化 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士 中世社会の成立 院政と平氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>律令国家の成立から、平安後期までの歴史内容を近年の研究成果に依拠しつつ、体系的な理解を深める。</li> <li>律令制の変遷、土地制度の変遷を理解し、その特徴を説明できる。</li> <li>摂関政治から院政期、武家の台頭の概略を近年の研究結果に依拠しつつ理解し、古代と中世社会の変容を対比させ、説明できる。</li> </ul>	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
二学期（64時間）	中間	鎌倉幕府の成立 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化 武家社会の成長 室町幕府の成立 幕府衰退と庶民の台頭 室町文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉、室町の武家政権の進展と武家文化の成立、浸透を理解する。</li> <li>室町幕府の成立から滅亡までを近年の研究内容に依拠しつつ、体系的に考察し理解し、概略を説明できる。</li> <li>織豊政権の誕生と日本社会の変化を理解し、近世社会がどのように確立していくかを理解することができる。</li> </ul>	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
	期末	戦国大名の登場 戦国大名の分国支配 幕藩体制の確立 織豊政権 桃山文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦国時代到来による民衆の集団化と社会の変容を理解し、戦国大名の政策と関連させ、理解することができる。</li> <li>織豊政権により国内統一により、桃山文化が発展した経緯を理解し、外来の文化である南蛮文化をどのように人々が受容したかを理解できる。</li> </ul>	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
三学期（36時間）		<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト対策</li> <li>国公立大学二次試験対策</li> <li>私立大学入試対策</li> </ul>	12月から受験期にかけては、特別授業の中で、大学入学共通テスト対策や国公立二次対策、私立大学入試対策などに取り組む。	関・知・技・思  過去問題 ワークシート 発問

## 令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史科		科目	日本史 B (必選)
学年	3年		単位数	2単位
教科書	『詳説日本史B』(山川出版社)			
副教材	『図説日本史通覧』(帝国書院)、『新詳述日本史史料集』(実教出版) 『4ステージ演習ノート日本史B』(数研出版)			
担当者	峯岸 久枝			
教科・科目の目標	日本史の演習と解説により、大学入学共通テストに対応できる学力を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (28時間)	中間	幕藩体制の確立 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 幕藩体制の展開 ・幕政の安定	・幕藩体制の仕組みを理解し、なぜ徳川幕府が長期政権となったのかを理解できる。 ・幕藩社会の構造に関して、当時の身分制度を基礎に社会階層を対比し、考察することができる。 ・幕政が安定していく中で、どのような改革が行われ、功を奏していったのかを多面的にとらえ、分析することができる。	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
	期末	・経済の発展  幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・幕府の衰退と近代への道	・商品作物の発展を受け、各地の地場産業がどのように成長を遂げ、またそれに伴い物流がどのように変化していったかを理解できる。 ・財政難を打開するために、さまざまな改革が行われ、その結果としてどのように幕政が変化していったかを自分の言葉で説明することができる。 ・外圧が強まる中で江戸幕府がどのように事態を打開しようとしたかと理解し、多角的に検証することができる。	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
二学期 (32時間)	中間	古代～中世の文化 ・飛鳥文化 ・白鳳文化 ・鎌倉文化 ・東山文化など	・日本最初の仏教文化は、どのような要因で始まり、発展していったかを理解し、自分なりに説明することができる。 ・武家文化の影響を強く受けた鎌倉文化がどのように日本社会に受容され、発展していったかを体系的に理解し、自分なりに説明することができる。	関・知・技・思  定期考査 問題集 ワークシート 発問
	期末	総合的な演習 I	・日本史の史資料や歴史地図、表やグラフなどの考察、及び入試問題の演習を通して、古代から近現代までを通しての国家と社会の特色について理解することができる。	関・知・技・思  定期考査 過去問題 ワークシート 発問
三学期 (18時間)		総合的な演習 II	・過去問・予想問題等を利用して大学入学共通テストに向けた知識の整理をすることができる。	関・知・技・思  過去問題 ワークシート 発問

令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史		科目	地理B（世界地誌）
学年	3年		単位数	4単位
教科書	新詳地理B・新詳高等地図			
副教材	新詳地理資料 COMPLETE 2022・ウィニングコンパス地理 2022・ 完全マスター地理B問題集・地理用語集・統計要覧 2023			
担当者	堀越 高行			
教科・科目 の目標	現代世界の地理的事象を、系統地理的・地誌的な視点から学習し、地理的認識を養うとともに地理的見方・考え方を培い、地理的技能を修得して、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。さらに、大学入試に対応できる学力を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (56時間)	Ⅰ期	○地理情報と地図 ○自然環境 ・地形 ・気候	○既習した系統地理分野の各項目について、特徴や成り立ち、課題などを総合的に復習し、理解を深めることができる。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
	Ⅱ期	○資源と産業 ・農林水産業 ・鉱工業 ・エネルギー資源 ○人口 ○都市・村落 ○生活文化	○既習した系統地理分野の各項目について、特徴や成り立ち、課題などを総合的に復習し、理解を深めることができる。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
二学期 (64時間)	Ⅲ期	○地誌的考察 ・東アジア地誌 ・東南アジア地誌 ・南アジア地誌 ・西アジア地誌 ・アフリカ地誌	○世界の諸地域と地域間の結びつきについて、自然環境、政治経済、言語宗教、民族、産業、生活文化等の特色を地誌的視点から追究し理解することができる。 ○地図・統計資料を活用して理解を深め、課題等について考察する。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
	Ⅳ期	・ヨーロッパ地誌 ・ロシア地誌 ・北アメリカ地誌 ・南アメリカ地誌 ・オセアニア地誌	○世界の諸地域と地域間の結びつきについて、自然環境、政治経済、言語宗教、民族、産業、生活文化等の特色を地誌的視点から追究し理解することができる。 ○地図・統計資料を活用して理解を深め、課題等について考察する。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
三学期 (36時間)	Ⅴ期	・日本地誌 ・比較地誌 ○地域調査 ○総合的な演習	○世界の諸地域と地域間の結びつきについて、自然環境、政治経済、言語宗教、民族、産業、生活文化等の特色を地誌的視点から追究し理解することができる。 ○地図・統計資料を活用して理解を深め、課題等について考察する。 ○大学入試問題に対応した多様な問題演習を通して、現代世界の諸事象を、資料を活用しながら多面的に理解することができる。	関・知・技・思  問題演習 ワークシート 発問

令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史		科目	地理B (系統地理・演習)
学年	3年		単位数	2単位
教科書	新詳地理B・新詳高等地図			
副教材	新詳地理資料 COMPLETE 2022・ウィニングコンパス地理 2022・ 完全マスター地理B問題集・地理用語集・統計要覧 2023			
担当者	奥富 孝夫			
教科・科目 の目標	現代世界の地理的事象を、系統地理的・地誌的な視点から学習し、地理的認識を養うとともに地理的見方・考え方を培い、地理的技能を修得して、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。さらに、大学入試に対応できる学力を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (28時間)	Ⅰ期	○資源と産業 ・第三次産業・観光 ○交通・通信・貿易	○世界の各産業の分布や立地、地域性、課題などについて、歴史的背景、グローバル化などの視点を踏まえて理解し、考察することができる。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
	Ⅱ期	○地理情報と地図 ○自然環境 ・地形・気候 ○資源と産業 ・農林水産業	○既習した系統地理分野の各項目について、特徴や成り立ち、課題などを総合的に復習し、理解を深めることができる。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
二学期 (32時間)	Ⅲ期	○資源と産業 ・鉱工業 ・エネルギー資源 ○人口 ○都市・村落 ○生活文化	○既習した系統地理分野の各項目について、特徴や成り立ち、課題などを総合的に復習し、理解を深めることができる。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
	Ⅳ期	○総合的な演習	○大学入試問題に対応した多様な問題演習を通して、現代世界の諸事象を、資料を活用しながら多面的に理解することができる。	関・知・技・思  定期考査 ワークシート 発問
三学期 (18時間)	Ⅴ期	○総合的な演習	○大学入試問題に対応した多様な問題演習を通して、現代世界の諸事象を、資料を活用しながら多面的に理解することができる。	関・知・技・思  問題演習 ワークシート 発問



令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史		科目	自選地理B
学年	3年		単位数	2単位
教科書	新詳地理B・新詳高等地図			
副教材	新詳地理資料 COMPLETE 2022・ウィニングコンパス地理の整理と演習 2022 完全マスター地理B問題集・地理用語集・統計要覧 2023			
担当者	堀越 高行			
教科・科目の目標	現代世界の地理的事象を、系統地理的・地誌的な視点から学習し、地理的認識を養うとともに地理的見方・考え方を培い、地理的技能を修得して、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。さらに、大学入試に対応できる学力を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (28時間)	Ⅰ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源と産業</li> <li>・交通・通信</li> <li>・貿易、経済圏</li> <li>●民族・宗教</li> <li>・国家群</li> <li>・民族・領土問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の交通・通信、貿易・経済圏について、世界的な分布と特徴・地域性を踏まえて理解し、考察することができる。</li> <li>○世界の民族・宗教とそれに係わる諸課題について、世界的な分布と特徴・地域性を踏まえて理解し、考察することができる。</li> </ul>	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 発問
	Ⅱ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地誌的考察</li> <li>・アフリカ地誌</li> <li>・ヨーロッパ地誌</li> <li>・北米地誌</li> <li>・中南米地誌</li> <li>・ロシア地誌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の諸地域と地域間の結びつきについて、自然環境、政治経済、言語宗教、民族、産業、生活文化等の特色を地誌的視点から追究し理解することができる。</li> <li>○地図・統計資料を活用して理解を深め、課題等について考察する。</li> </ul>	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 発問
二学期 (36時間)	Ⅲ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地誌的考察</li> <li>・アジア地誌</li> <li>・日本地誌</li> <li>・比較地誌</li> <li>●地域調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の諸地域と地域間の結びつきについて、自然環境、政治経済、言語宗教、民族、産業、生活文化等の特色を地誌的視点から追究し理解することができる。</li> <li>○地図・統計資料を活用して理解を深め、課題等について考察する。</li> </ul>	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 発問
	Ⅳ期	総合的な演習	○大学入試問題に対応した多様な問題演習を通して、現代世界の諸事象を、資料を活用しながら多面的に理解することができる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 発問
三学期 (18時間)	Ⅴ期	総合的な演習	○大学入試問題に対応した多様な問題演習を通して、現代世界の諸事象を、資料を活用しながら多面的に理解することができる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 発問
		総合的な演習	○大学入試問題に対応した多様な問題演習を通して、現代世界の諸事象を、資料を活用しながら多面的に理解することができる。	関・知・技・思 問題演習 ワークシート 発問

## 令和5年度 年間授業計画

教科	公民科	科目	政治・経済
学年	3年	単位数	2単位
教科書	『高等学校 現代政治・経済』清水書院		
副教材	『最新政治・経済資料集』第一学習社／『受験対策 政治・経済 これ一冊』清水書院		
担当者	神方 紀明 / 石川 智章		
教科・科目の目標	民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などに関する諸課題について主体的に考察させ、良識ある公民としての資質を育てる。		
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法
1学期 (28時間)	民主政治の基本 原理と日本国憲 法	・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、望ましい政治の在り方について考察させる。	関・知・技・思  定期考査 ノート等提出物 発問
	現代の国際政治	・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機関の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。	関・知・技・思  定期考査 ノート等提出物 発問
2学期 (32時間)	現代経済の仕組 みと特質	・経済活動の意義、国民経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。	関・知・技・思  定期考査 ノート等提出物 発問
	国民経済と国際 経済	・貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。	関・知・技・思  定期考査 ノート等提出物 発問
3学期 (18時間)	現代日本の政治 や経済の諸課題	・少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探求させる。	関・知・技・思  定期考査 ノート等提出物 発問
	国際社会の政治 や経済の諸課題	・地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探求させる。	

## 令和5年度 年間授業計画

教科	公民科	科目	現代社会（自選）
学年	3年	単位数	2単位
教科書	『高等学校 現代社会』清水書院		
副教材	『倫理・政経・現社の整理と演習』とうほう		
担当者	神方 紀明		
教科・科目の目標	哲学・宗教がもつ意義を、先人の教えを通して学ぶ。現代社会の政治・経済の諸問題について考える力を養う。あわせて、大学入学共通テストに対応する学力を身につける。		
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法
一学期（28時間）	現代の特質と倫理的課題 日本人としての自覚	仏教、中国思想、芸術と人生、古代日本人の思想、日本の仏教思想、近世日本の思想の基本的知識の習得の上に、問題演習を重ね、大学入学共通テストに対応できる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 問題集 発問
	日本国憲法の基本原理	日本国憲法の成立、平和主義、基本的人権の基本的知識の習得の上に、問題演習を重ね、大学入学共通テストに対応できる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 問題演習 発問
二学期（32時間）	現代の国際政治	国際連合、国際政治の歴史と動向の基本的知識の習得の上に、問題演習を重ね、大学入学共通テストに対応できる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 問題演習 発問
	現代経済のしくみ	企業、市場機構、金融、財政の基本的知識の習得の上に、問題演習を重ね、大学入学共通テストに対応できる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 問題演習 発問
三学期（18時間）	世界経済と日本	国際経済のしくみ、戦後世界経済体制の動向、日本経済の国際化の基本的知識の習得の上に、問題演習を重ね、大学入学共通テストに対応できる。	関・知・技・思 定期考査 ワークシート 問題演習 発問

## 令和5年度 年間授業計画

教科	数 学		科 目	数学Ⅱβ
学 年	3 年		単位数	3 単位
教科書	改訂版 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B			数研出版
副教材	改訂版 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B 受験編 数研出版			
担当者	逸見 由紀子			
教科・科目の目標	数学ⅠⅡ及びABの大学入学共通テストレベルの問題演習を通じて、より高度な数学的思考力に習熟し、応用・発展的な入試に対応できる力を育成する。			
学 期	単 元		指 導 目 標	評価の観点・方法
1 学期 (42時間)	中間	数学Ⅰ 数学Ⅱ	以下の事項に対して、基礎・基本を確認し、標準的な問題を理解することができる。  式の計算、式と証明、複素数と方程式、1次不等式、集合と命題、2次関数、三角比、データの分析	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問
	期末	数学A 数学Ⅱ 数学B	以下の事項に対して、基礎・基本を確認し、標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。  場合の数、確率、平面図形、整数、微分法と積分法、数列、ベクトル	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問
2 学期 (48時間)	中間	数学Ⅰ 数学A 数学Ⅱ 数学B	数学ⅠAⅡB全範囲に対して、標準から発展的な問題まで理解することができる。また、大学入学入学共通テストの出題傾向に沿った問題を解くことができる。	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問
	期末	総合演習	以下の事項に対して、基礎・基本を確認し、標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。また数学ⅠⅡABの総合演習によって総合力を高めることができる。  三角比と図形、代表値・散らばり・相関、数と式、二次関数・最大と最小、二次不等式・種々の問題	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問 大学入試センター 対策の模擬試験
3 学期 (27時間)	学年末	総合演習	数学ⅠⅡABの総合演習によって、受験に対しての総合力を完成することができる。	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問 大学共通テスト 対策の模擬試験

# 令和5年度 年間授業計画

教科	数 学		科目	数学Ⅱγ
学年	3年		単位数	3単位
教科書	改訂版 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数研出版			
副教材	四訂版 クリアー数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編 数研出版			
担当者	金 田 隆			
教科・科目の目標	数学ⅠAⅡBに関する記述問題の演習を通じて、より高度な数学的思考力に習熟し、応用・発展的な入試問題に対応できる力を育成する。			
学 期	単 元	指 導 目 標		評価の観点・方法
一学期 (42時間)	中間 考査	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A	以下の内容について、標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。  式の計算、恒等式・割り算の問題、方程式・不等式の解法、関数とグラフ、最大・最小、2次方程式の理論、種々の方程式の問題、不等式の種々の問題、式の値、二項定理、等式・不等式の証明、集合と論証、整数の性質、整数と方程式、場合の数、組合せ	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問
	期末 考査	数学Ⅰ 数学Ⅱ	以下の内容について、標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。  確率、図形の性質、三角比と三角形、図形と計量点と直線、曲線と直線、軌跡、領域、図形と式の種々の問題	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問
二学期 (48時間)	中間 考査	数学Ⅱ 数学B	以下の内容について、標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。  三角関数、指数対数の計算及び種々の問題、導関数と接線、関数の増減・極値、最大・最小、方程式・不等式への応用、積分の計算、定積分で表された関数、面積	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問
	期末 考査	数学Ⅱ 数学B  総合演習	以下の内容について、標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。 ベクトル、内積、ベクトルと平面図形・空間図形、等差・等比数列、種々の数列、漸化式と数列、数学的帰納法、数列の応用問題  標準的な問題から発展的な問題まで理解することができる。また数学ⅠⅡABの総合演習によって総合力を高めることができる。	知技・思判表・主  定期考査  プリント 発問 大学入試センター対策の模擬試験
三学期 (27時間)	学年 末考査	総合演習	数学ⅠⅡABの総合演習によって、受験に対しての総合力に習熟することができる。	知技・思判表・主  定期考査 プリント 発問 大学入試センター対策の模擬試験

令和5年度 年間授業計画

教科	数 学		科 目	数 学 III
学 年	3 年		単位数	$\beta$ 5 単位・ $\alpha$ 2 単位
教科書	改訂版 「数学III」 数研出版			
副教材	体系数学5 体系問題集数学5 クリアー数学III			
担当者	浅野紗弓、天白宙、山崎孝夫、松田崇史、美濃部哲夫			
教科・科目 の目標	数学的考察力の基盤の確立と基本概念の理解、またそれに基づいた応用力の養成を目指す。			
学 期	単 元	指 導 目 標		評価の観点・方法
1 学期 (9 8 時間)	中 間	(5 単位) 微分法 微分法の応用	いろいろな関数について導関数を求めることができる。 導関数の意味を理解し、接線や法線、関数の値の変化やグラフ、さらには方程式・不等式に関連する諸問題について、微分の知識を活用することができる。	関・知・技・思  定期考査 プリント 発問
		(2 単位) 式と曲線	2次曲線の成り立ちを理解し、グラフの特徴をつかみ、平行移動や直線との関係について考察することができる。	
	期 末	(5 単位) 積分法	いろいろな関数について、置換積分や部分積分の技法を用いて不定積分及び定積分を計算することができる。 面積・体積・速度と道のり・曲線の長さといった諸問題について、積分の知識を活用することができる。	関・知・技・思  定期考査 プリント 発問
		(2 単位) 複素数平面	複素平面について理解し、複素平面上の図形に対してその知識を活用することができる。	
2 学期 (1 1 2 時間)	中 間	総合演習 (5 単位・2 単位 とも)	大学入試問題を素材とした総合演習において、今までの知識が活用できる。 (数学IIIを中心とするが、I II AB の内容も含む)	関・知・技・思  定期考査 プリント 発問
	期 末	総合演習 (5 単位・2 単位 とも)	大学入試問題を素材とした総合演習において、今までの知識が活用できる。 (数学IIIを中心とするが、I II AB の内容も含む)	関・知・技・思  定期考査 プリント 発問
3 学期 (6 3 時間)	学 年 末	総合演習 (5 単位・2 単位 とも)	大学入試問題を素材とした総合演習において、今までの知識が活用できる。 (数学IIIを中心とするが、I II AB の内容も含む)	関・知・技・思  定期考査 プリント 発問

## 令和5年度 年間授業計画

教科	理科	科目	物理（理系必選物理）
学年	3年	単位数	4単位
教科書	物理（東京書籍）		
副教材	物理重要問題集（数研出版） セミナー物理（第一学習社）（2学年次に使用したもの）		
担当者	金盛 陽 家弓 明丈		
教科・科目の目標	目的意識をもって観察・実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を身につける。物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的なものの見方を身につける。さらに持続可能な社会の実現に向けた科学技術の在り方について、意思決定するために必要な科学的な見方や考え方を身につける。また、理学、工学、医学系統に進学するために必要な物理的素養を身につける。		
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法
1 学期 (56 時間)	●2編 熱 第1章 気体分子運動と圧力 第2章 気体の状態変化	以下の内容を十分に理解し、入試レベルの問題を考察できる。 ○気体の性質、気体の状態変化 ○気体分子の熱運動 ○熱機関と熱力学第2法則	関心・思考・技術・知識  定期考査 提出物 授業態度
	●3編 波 第2章 音 第3章 光	以下の内容を十分に理解し、入試レベルの問題を考察できる。 ○光の伝わり方 ○光の回折と干渉 ○レンズと鏡	
	●5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核	以下の内容を十分に理解し、入試レベルの問題を考察できる。 ○光の粒子性 ○物質の波動性 ○原子の構造 ○原子核 ○原子核の崩壊 ○核反応と核エネルギー ○素粒子	
		以下の内容を十分に理解し、入試レベルの問題を考察できる。 入試問題演習 力学・熱力学の総合問題を考察できる。	
2 学期 (64 時間)		入試問題演習 電磁気・波動・原子の総合問題を考察できる。  総合入試問題演習	
3 学期 (36 時間)		総合入試問題演習	

令和5年度 年間授業計画

教科	理科	科目	物理基礎
学年	3年	単位数	1単位
教科書	物理基礎（東京書籍）		
副教材	セミナー物理基礎（第一学習社）		
担当者	荻原 清		
教科・科目の目標	文系志望の生徒で共通テスト「物理基礎」の受験希望者を対象とする。1学年で学習した物理基礎を復習するとともに、実践問題演習を通して共通テストに対応できる力を養っていく。		
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法
1学期 (14時間)	力学、仕事、熱 エネルギー、波動 確認問題 エネルギーとその 利用 確認問題	分野別の基礎基本の確認から応用力まで定着させる。  エネルギーとその利用について、基礎基本の確認から、世界全体が抱える問題等を理解させる。	関心・思考・技術・知識  課題テスト 課題提出物 授業態度 発問
	全分野 実践問題	実践問題の結果から、物理基礎の各分野についての自分の達成度を確認させ、不得意分野を整理し、その対策を立てさせる。	
2学期 (16時間)	全分野 実践問題	実践問題の結果から、1学期の不得意分野が、どう改善されたか確認させ、その結果に応じた対応策を立てさせる。また、物理基礎全分野での実力向上の度合いを確認させ、その後の学習対策を図らせる。	
	全分野 実践問題	実践問題の結果から、物理基礎全分野での実力向上の度合いを確認させ、その後の学習対策を図らせる。	
3学期 (9時間)	全分野 実践問題	実践問題を通して、物理基礎全分野の総整理を図らせる。	



令和5年度 年間授業計画

教科	理科		科目	化学
学年	3年		単位数	6単位
教科書	啓林館 「化学」			
副教材	啓林館「センサー化学」, 数研出版「化学重要問題集」			
担当者	臼井 豊和・新林 圭			
教科・科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 (87時間)	Ⅰ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化学</li> <li>・物質の状態変化</li> </ul>	置換基を有する芳香族化合物の構造と性質について理解することができる。  三態に対する考え方を理解することができる。	知・思・主  定期考査 実験レポート 提出物 発問
	Ⅱ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の性質</li> <li>・溶液の性質</li> <li>・反応速度</li> <li>・化学平衡</li> </ul>	ボイルシャルルの法則や気体の状態方程式を使って物質の状態を考えることができる。 固・液の溶解度と気・液の溶解度を理解し、析出量の計算やヘンリーの法則、分圧の法則を理解できる。 化学反応速度論を理解し、化学平衡に関する理論的解釈ができる。	知・思・主  定期考査 実験レポート 提出物 発問
二学期 (94時間)	Ⅲ期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高分子化合物</li> <li>・食品と衣料の化学</li> <li>・材料の化学</li> <li>・生命と物質</li> </ul>	高分子化合物を中心とした有機化学の構造と性質を理解し、身近な物質について化学的に探究することができる。 ATP, DNA 等の構造を理解し、生命科学の諸現象を化学的に考えることができる。	知・思・主  定期考査 実験レポート 提出物 発問
	Ⅳ期	大学入試問題演習	大学の入試問題の演習を通して、知識を定着させ、化学的に思考することができる。	知・思・主  定期考査 提出物 発問
三学期 (53時間)	Ⅴ期	センター試験対策演習 二次試験対策演習	センター試験の過去問題を解くことができる。 国公立入試過去問題を解くことができる。	知・思・主  提出物 発問

## 令和5年度 年間授業計画

教科	理科		科目	化学基礎（化学基礎演習）
学年	3年		単位数	1単位
教科書	啓林館 「化学基礎」			
副教材	啓林館「センサー化学」, 数研出版「大学入試センター試験対策チェック&演習 化学基礎」			
担当者	臼井 豊和			
教科・科目 の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 （14時間）	Ⅰ期	化学と人間生活 物質の構成	化学と人間生活との関わり、および、化学が人間生活を支えていることを理解することができる。 元素および原子・分子・イオンについて理解し、化学結合の種類と仕組みについて理解することができる。 物質量を使って物質の量を換算することができる。化学変化における量的関係を考えることができる。	知・思・主  定期考査 提出物
	Ⅱ期	物質の変化	酸塩基の学習を通して、pH および中和の量的関係を理解することができる。 酸化・還元学習を通して、酸化数の変化から酸化と還元を判断することができる。酸化剤と還元剤、電池、電気分解について理解することができる。	知・思・主  定期考査 提出物
二学期 （16時間）	Ⅲ期	化学基礎全般の 復習と演習	演習問題を行い、化学基礎全般の問題について理解することができる。	知・思・主  定期考査 提出物
	Ⅳ期	化学基礎全般の 復習と演習	演習問題を行い、化学基礎全般の問題について理解することができる。	知・思・主  定期考査 提出物
三学期 （9時間）	Ⅴ期	上記の続き	センター試験問題を解くことができる。	知・思・主  提出物

## 令和5年度 年間授業計画

教科	理科	科目	生物（理系必選生物）
学年	3年	単位数	4単位
教科書	東京書籍『スタンダード生物』		
副教材	第一学習社「最新図説生物」（1、2年時使用のもの） 第一学習社「セミナー生物＋生物基礎」（1、2年時使用のもの） 数研出版「チェック&演習 生物」 駿台文庫「共通テスト実戦問題 パックV 生物」		
担当者	原田 慧		
教科・科目の目標	「生物」の内容となっている「生命現象と物質」、「遺伝子のはたらき」、「生殖と発生」の各分野を学ぶ。さらに2年次に学習した範囲も含めて演習に取り組み、生物系・農学系・医学系・看護医療系・家政系等進学者に必要な生物的素養を確実に身につけさせる。		
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法
1学期 （56時間）	生命現象と物質  遺伝子のはたらき	生物を構成している物質や基本的な構造についておよび、生物体内で起こる現象のしくみについて理解する。 以下の内容を十分に理解することができる。また、実験や観察を通して、生命現象について考察することができる。 生物を構成する物質、生命現象とタンパク質、代謝とエネルギー 以下の内容を十分に理解することができる。また、実験や観察を通して、生命現象について考察することができる。 DNAの構造と複製、遺伝情報の発現と発現調節、バイオテクノロジー	興味関心 思考判断 実験観察技能 知識理解 定期考査 プリント 実験レポート 発問 授業態度
2学期 （64時間）	生殖と発生  総合演習	DNA レベルでの変化から個体の発生や遺伝の仕組みのしくみについて理解する。 以下の内容を十分に理解することができる。また、実験や観察を通して、生命現象について考察することができる。 有性生殖、動物の発生、植物の発生 以下の内容について総合的な演習問題に主体的に取り組み、思考判断の過程を記述することができる。 分子からみた生命現象・代謝・遺伝子とバイオテクノロジー・生態系・生物の多様性と進化	興味関心 思考判断 実験観察技能 知識理解 定期考査 プリント 実験レポート 発問 授業態度
3学期 （36時間）	総合演習	以下の内容について総合的な演習問題に主体的に取り組み、思考判断の過程を記述することができる。 分子からみた生命現象・代謝・遺伝子とバイオテクノロジー・生態系・生物の多様性と進化	興味関心 思考判断 知識理解 定期考査 プリント 発問 授業態度

## 令和5年度 年間授業計画

教科	理科	科目	生物基礎演習
学年	3年	単位数	1単位
教科書	東京書籍『改訂生物基礎』		
副教材	第一学習社「生物図説」(1, 2年時使用のもの)、 第一学習社「セミナー生物」(1, 2年時使用のもの) 浜島書店「つかむ生物基礎」		
担当者	原田 慧		
教科・科目の目標	「生物基礎」の内容となっている「生物の特徴」「遺伝子」「体内環境」「生態系」の各分野を学ぶ。さらに共通テスト対策として演習に取り組む。		
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法
1学期 (14時間)	生物と遺伝子 生物の体内環境 多様性と生態系	以下の内容について、十分に理解することができる。  生物の特徴・生物の共通性と多様性 生物と遺伝子 生物の体内環境 生物の多様性と生態系	関・思・技・知  定期考査 小テスト
2学期 (16時間)	総合演習	総合的な演習問題に主体的に取り組み、センターレベルの問題に正解することができる。	関・思・技・知  定期考査 共通テスト模試
3学期 (9時間)	総合演習	総合的な演習問題に主体的に取り組み、センターレベルの問題に正解することができる。	関・思・技・知  共通テスト模試

令和5年度 年間授業計画

教科		保健体育		科目	体育	
学年		3 学年		単位数	3 単位	
教科書		現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)				
副教材		なし				
担当者		増野知子 吉田洲 吉見亜衣 佐川一秀 峯岸健				
教科・科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の維持向上をはかり、協力、公正、責任などの態度を育てる。</li> <li>体力、運動技能を高めるとともに、運動の楽しさや喜びと感じ、生涯体育に結びつける。</li> </ul>				
学期		単元		指導目標		評価の観点・方法
一学期 (42 時間)	中間	体育理論 (前期 2 時間授業) (通年 1 時間授業) 下記 4 種目より 1 種目を選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットボール (女子)</li> <li>バスケットボール (男子)</li> <li>卓球</li> <li>ソフトボール</li> </ul>	下記 4 種目より 1 種目を選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>硬式テニス</li> <li>バドミントン</li> <li>フライングディスク</li> <li>サッカー</li> </ul>	各種目ごとの学び方を考え、豊かなスポーツライフの設計に役立てる。 (前期 2 時間授業) <ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットボール パス、ドリブル、シュートなどの基本練習から 1 対 1、2 対 1、3 対 3 などの総合練習やゲームへと発展する。</li> <li>卓球 ラケットの握り方など基本から、ドライブ、カット、スマッシュなどに発展させ、ゲームを行う。</li> <li>ソフトボール グループ活動を中心として、練習計画、ゲームの進め方等、自主的な運営に取り組む。</li> </ul>	(通年 1 時間授業) <ul style="list-style-type: none"> <li>硬式テニス ラケットの握り方など基本から、ストローク、スマッシュ、サービスと発展させ、ゲームを行う。</li> <li>バドミントン グループ活動を中心として、練習計画、ゲームの進め方等、自主的な運営に取り組む。 個人技能向上のための知識及び実践</li> <li>フライングディスク 基本的なディスクの投げ方、取り方を習得し、アルティメットを中心とした集団ゲームへと展開していく。</li> </ul>	知識・思考 技能 思考・判断・表現 実技テスト 班ノート 個人ノート 主体的に学習に取り組む態度 出席・参加状況
	期末	体育理論 (後期 2 時間授業) 下記 4 種目より 1 種目を選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>バドミントン</li> <li>硬式テニス</li> <li>卓球</li> <li>フライングディスク</li> </ul>	各種目ごとの学び方を考え、豊かなスポーツライフの設計に役立てる。 (後期 2 時間授業) <ul style="list-style-type: none"> <li>バドミントン グループ活動を中心として、練習計画、ゲームの進め方等、自主的な運営に取り組む。</li> <li>硬式テニス ラケットの握り方など基本から、ストローク、スマッシュ、サービスと発展させ、ゲームを行う。</li> <li>卓球 ラケットの握り方など基本から、ドライブ、カットなどの打ち方を組み合わせ、ゲームを行う。</li> <li>フライングディスク 基本的なディスクの投げ方、取り方を習得し、アルティメットを中心とした集団ゲームへと展開していく。</li> </ul>	(通年 1 時間授業) <ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー グループ活動を中心として、ドリブル、パス、シュートなど個人的技能および集団技能を高め、ゲームへと発展する。</li> </ul>	知識・思考 技能 思考・判断・表現 実技テスト 班ノート 個人ノート 主体的に学習に取り組む態度 出席・参加状況	
三学期 (27 時間)	学年末					

令和5年度 年間授業計画

教科	外国語(英語)	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	
学年	3年	単位数	3単位	
教科書	Element English Communication Ⅲ (啓林館)			
副教材	Cutting Edge Orange (エミル出版)、リーチ40 共通テスト英語 (美誠社)			
担当者	大澤 裕一、佐藤 ルミ			
教科・科目の目標	英語を通じて、言語・文化に対する理解を更に深め、積極的にコミュニケーションを行なう態度を育成するとともに、情報や考えなどを正確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。自ら進んで学習を深め、意欲的に学習していく姿勢を養う。			
学期	単元	指導目標	評価の観点・方法	
一学期 (42時間)	中間 考査	ELEMENT Ⅲ Lesson 1  Cutting Edge Orange 1~4	生徒の興味関心に即した読み物、論説文などを扱い、主に読解力を養う。リスニング指導も行い、話す、聞く、読む、書く、という4技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
	期末 考査	ELEMENT Ⅲ Lesson 2  Cutting Edge Orange 5~8	生徒の興味関心に即した読み物、論説文などを扱い、主に読解力を養う。リスニング指導も行い、話す、聞く、読む、書く、という4技能をバランスよく伸ばさせながら共通テストに対応できる基礎力を完成させる。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
二学期 (48時間)	中間 考査	ELEMENT Ⅲ Lesson 3  Cutting Edge Orange 9~12	実力養成期と位置づけ、主に大学入試問題を扱いながら、読解力の強化と、記述問題への対応力を養い国公立二次試験に備える。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
	期末 考査	ELEMENT Ⅲ Lesson 4  Cutting Edge Orange 13~16	実力養成期と位置づけ、主に大学入試問題を扱いながら、読解力の強化と、記述問題への対応力を養い国公立二次試験に備える。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
三学期 (27時間)	学年 末考査	リーチ40 全範囲  大学入試問題	共通テスト直前期として対策を行い、準備を整える。共通テスト後は個別入試問題の過去問題対策を行い、私大、国公立二次試験の対策を行う。	年間の定期考査を重視し、提出課題、授業への取組み小テストなどを勘案し総合的に評価し学年評定とする。

令和5年度 年間授業計画

教科	外国語（英語）		科目	英語表現Ⅱ
学年	3年		単位数	2単位
教科書	Vision Quest English Expression II（啓林館）			
副教材	入試必携英作文 Write to the Point（数研出版）、Clues to Reading（数研出版）、 共通テストリスニング分野別 10min.（エミル出版）、スクランブル英文法・語法（旺文社） リーチ 30 共通テストリスニング（美誠社）			
担当者	石崎 陽一、大澤 裕一、南部 英子			
教科・科目 の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら事実や意見などを伝える能力を伸ばす。自ら進んで学習を深め、意欲的に学習を継続する姿勢を養う。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期（28時間）	中間 考查	入試必携英作文 1~3 Clues to Reading 1~3	動詞の語法、時制、態、助動詞についての様々な形式の問題を解き、共通テストレベルの基礎を固める。	定期考查を重視し、 提出課題 授業への取り組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
	期末 考查	入試必携英作文 4~6 Clues to Reading 4~6	仮定法、不定詞、分詞、動名詞、動詞を含むイディオム、形容詞の語法についての様々な形式の問題を解き、共通テストレベルの基礎を固める。	定期考查を重視し、 提出課題 授業への取り組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
二学期（32時間）	中間 考查	入試必携英作文 7~10 Clues to Reading 7~10	副詞の語法、比較、形容詞・副詞・冠詞・名詞・代名詞・関係詞・接続詞についての様々な形式の問題を解き、共通テストレベルの基礎の確認と、国公立二次試験で必要なレベルに対応する力を養う。	定期考查を重視し、 提出課題 授業への取り組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
	期末 考查	入試必携英作文 11~14 Clues to Reading 11~14	前置詞・群前置詞・主語と動詞の一致・疑問文・否定・省略・強調についての様々な形式の問題を解き、共通テストレベルの基礎の確認と、国公立二次試験で必要なレベルに対応する力を養う。	定期考查を重視し、 提出課題 授業への取り組み 小テストなどを勘案し総合的に評価する。
三学期（18時間）	学年末 考查	リーチ 30 共通テストリスニング	共通テスト直前期として対策を行い、準備を整える。共通テスト後は個別入試問題の過去問題対策を行い、私大、国公立二次試験の対策を行う。	年間の定期考查を重視し、提出課題、授業への取り組み小テストなどを勘案し総合的に評価し学年評定とする。

令和5年度 年間授業計画

教科	外国語（英語）		科目	コミュニケーション英語Ⅱ （必修選択）
学年	3年		単位数	2単位
教科書	ELEMENT English Communication II（啓林館）			
副教材	Interesting Stories 1（旺文社）、Critical Point 2（エミル出版）、 Reading Flash 3（桐原書店）			
担当者	石崎陽一			
教科・科目 の目標	大学入試問題で、最も大きな割合を占める長文読解問題に対応する英語力を養成する。 そのために、長文読解力だけでなく、しっかりと文法事項や構文を理解して英文を理解 できるように指導する。			
学期	単元	指導目標		評価の観点・方法
一学期 （28時間）	中間 考査	Interesting Stories 1 1～3 Critical Point 1～3 Reading Flash 1～6	様々な話題を扱いながら、一つ一つの文構造を しっかり把握し、正しく意味が取れるように指 導する。パラグラフの展開も意識させる。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案 し総合的に評価す る。
	期末 考査	Interesting Stories 1 4～7 Critical Point 4～6 Reading Flash 7～12	様々な話題を扱いながら、文構造をしっかり把 握し、正しく速く意味が取れるように指導す る。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案 し総合的に評価す る。
二学期 （32時間）	中間 考査	Interesting Stories 1 8～11 Critical Point 7～9 Reading Flash 13～18	様々な話題を扱いながら、文構造をしっかり把 握し、全体の文章の意味を正しく理解でき るように指導する。記述問題に対応できる日本語力 も養う。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案 し総合的に評価す る。
	期末 考査	Interesting Stories 1 12～15 Critical Point 10～12 Reading Flash 19～24	共通テストで8割程度まで得点できる総合力 を養う。中堅私大の問題に7割得点できる読解 力、記述力を錬成する。	定期考査を重視し、 提出課題 授業への取組み 小テストなどを勘案 し総合的に評価す る。
三学期 （18時間）	学年 末考査	大学入試過去問演 習	個別課題の大学入試問題について背景を理解 し、速読で全体の流れをつかみ、重要な部分に ついて正確な読み取りができる。	年間の定期考査を重 視し、提出課題、授 業への取組み小テス トなどを勘案し総合 的に評価し学年評定 とする。